

4. 留学・短期研修について

ここでは、特に皆さんに関係がある3つのケースについて触れておきます。本学で海外留学を希望する場合、(1) 協定大学への「交換留学」、(2) 本学を介さず自分で計画する「私費留学」、(3) 大学で企画している短期間の「短期研修」への参加、という形が一般的です。また、「学生生活」と「履修の手引」にも留学や語学研修の掲載があるので、参照してください。

(1) 交換留学

協定大学への留学生募集は、毎年10月頃から開始します。交換留学ができる学生は、その後の学内選考によって決定されます(「5. (1) 協定大学に留学するまでの流れ(応募～出発まで)」参照)。人数、留学期間、応募条件は協定大学によって異なります(「5. (2) 協定大学情報一覧」参照)。日本学生支援機構海外留学支援制度奨学金や福岡教育大学国際交流協定校派遣支援奨学金を受給できる場合があります。また、協定大学で修得した単位が、本学の単位として認定される単位互換制度もあります(単位互換を行うには、所定の手続きが必要です)。交換留学の場合、休学する必要がないので、卒業要件を満たせば4年で卒業することも可能です。

(2) 私費留学

協定大学以外の大学への留学を希望する場合、「私費留学」が一般的です。自分で留学したい大学を調べ、申し込みをし、資金も自分で用意することになります。大学を「休学」して留学する人がほとんどで、留学前に教育支援課へ休学願を提出する必要があります。また、休学期間は卒業に必要な在学期間(4年)には含まれませんので、留学期間分卒業を延期することになります。自由度が高い分、何事も自分で準備する必要がありますので、十分に調査をした上で、留学計画と将来計画を入念に立てるようにしましょう。

(3) 短期研修

A 語学研修

春休みや夏休み期間に、約一ヶ月、海外の大学などの施設で行われます。毎年学内で説明会を開催しますので、希望者は必ず参加してください。留学だけではなく語学研修を希望している学生も、入学した当初から目標に向かって、必要となる言語の修得、その文化に関する知識、資金などについて、準備しておかなければなりません。実施期間、費用、授業内容などは、語学研修ごとに異なりますので、掲示物や本ガイドブックの7. 留学・語学研修体験報告書を参照してください。また、語学研修による単位認定については、「履修の手引」に記載しています。なお、語学研修の参加者は、研修に出发する前に教育支援課へ研修届を提出する必要があります。

B インターンシップ研修・ボランティア研修等

語学研修同様、休暇期間を利用して、2～3週間実施します。語学研修との違いは、海外の団体・企業などで英語を使って業務やボランティアを行うことです。近年は、カンボジアやミャンマーで夏休み等を利用して行っています。一緒に参加する仲間と事前研修を行い、現地の情報や文化を調べ、研修先でどのようなことを行うのか、各自目標を立てて参加します。そして、研修後は報告会を行い、成果を発表します。ただし、年度ごとに実施の有無や実施先が異なる可能性があります。